

介護保険事業計画に記載した「自立支援・介護予防又は重度化防止に関する取組と目標」
(令和4年度) について公表いたします

1 健康・生きがいづくりの推進と生活支援サービスの充実

【目標を設定するに至った現状と課題】

高齢者の方の介護予防の取組のひとつとして、各種体操の指導者を増やすことで、高齢者が体操を親しむ機会が増え、ひとりひとりに適した体操の指導が行われるようになる。しかし、育成の場が減り、指導者が減少し、高齢者が体操に接する場の確保も困難な状態である。

【設定した主な取組及び目標・実績】

【取組】

- ・シルバーリハビリ体操指導士3級養成事業の実施。
- ・スクエアステップリーダーの会の実施

【目標】

- ・各種体操の指導者数 R4 228名

【実績】

- ・各種体操の指導者数 R4 191名

【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

・取組の継続により、活動への理解と関心が高まり参加者数が増加傾向となった。また、人数の増加に伴い様々な意見や要望が予想されるが、これらを整理し適正に対応することで、円滑な運営が保たれ目的達成が見込まれると思われる。

【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

自己評価【A】

評価理由: 前年度に引き続き目標の80%を超える実績を得たためA評価とした。

今後の方針: 積極的に周知活動及び養成事業等を計画的に実施し活動を推進します。

2 安全・安心なまちづくりの推進

【目標を設定するに至った現状と課題】

高齢者数の増加とともに、認知症等による徘徊や行方不明の発生件数が増加傾向にある。人と地域がつながり、助け合いながら住み慣れた地域で暮らすことができるよう、住民や地域の事業所等と連携した見守り活動の推進が必要である。

【設定した主な取組及び目標・実績】

【取組】見守り協定の締結

【目標】R4: 目標6件

【実績】R5.3末 50

【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

事業者等との見守り協定締結を進めることにより行方不明者等の早期発見に寄与するとともに行政と地域が連携した見守り体制のさらなる充実と地域住民への安心感を提供する。

【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

自己評価【S】

評価理由: 更に目標を上回る実績を確保できたため評価をSとした。

今後の方針: 啓発活動を継続し更なる充実を図る。

3 高齢者の能力活用と就労支援

【目標を設定するに至った現状と課題】

地域の日常生活に密着した就業機会の提供により、高齢者の社会参加を促進し、高齢者一人ひとりの生きがいの充実、健康の保持増進を図る。また、長期的目標として、地域社会の活性化、医療費や介護費の削減などに貢献していきたい。しかし、就業内容の需要と供給とのバランスや技術の向上への課題など安定的事業運営の必要がある。

【設定した主な取組及び目標・実績】

シルバー人材センターへの入会の促進のため、広報や活動内容の周知、啓発活動を行い、会員数の増加を図る。

【目標項目】	目標数値	実績値	達成率(%)
シルバー人材センターの会員数	485	463	95.5

【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

健康の保持増進、長期的目標として、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などが期待される。

【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

会員数において昨年度実績よりやや低下しているが、就業率や就業延人数は増加傾向にあるため、一定の効果は得られたことから、A評価とした。